

頭頸部癌 扁平上皮癌 (再発又は転移性)  
**FP+Cetuximab療法 (導入)**

1st Line

患者ID : @PATIENTID

患者氏名 : @PATIENTNAME

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m <sup>2</sup> )
\$HEIGHT01_Doc	WEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール : 1コース 21日

使用基準 : class A

指示1 : 尿量測定 毎日

指示2 : 体重測定 毎日起床時

指示3 : 利尿剤投与指示 以下条件でフロセミド1A iv

Day1 開始から21時(約10時間)の尿量 ≤ 800mL

Day2 治療開始より24時間までの尿量 ≤ 2000mL

Day3~終了翌日 治療継続中における24時間の尿量 ≤ 1500mL

化学療法開始直前と比べて2kg以上の体重増加があり、利尿剤未使用

注意 : Day5以降も水分摂取が少ない場合や尿量が少ない場合には、輸液を考慮すること

※ **投与中・投与終了後少なくとも1時間**はVital signsのチェック (Monitor装着を推奨)

※ **Infusion reaction**に要注意

重度のInfusion reaction(気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショック、心筋梗塞、心停止)

の発現の報告が**初回投与**又は**投与終了後1時間以内**に多いが、**投与数時間後**又は**2回目以降**

の投与でも発現することがある。

※ 血清マグネシウム値のモニターを定期的(月1回程度)に行うこと。

※ 皮膚症状には早期から積極的な対応を行うこと。

《 使用薬剤 》

セツキシマブ (CET) : (セツキシマブ) 100mg/20mL/V

シスプラチン (CDDP) : シスプラチン注 50mg/100mL/V、10mg/20mL/V

フルオロウラシル : フルオロウラシル注 (250mg/5mL、1000mg/20mL)

投与量 :

薬剤	標準投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
セツキシマブ	400 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1
セツキシマブ	250 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		8.15
シスプラチン	80 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1
フルオロウラシル	800 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1~4

<< タイムスケジュール：開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日： 1月1日 (日)

	メイン	側管			
day1	0時00分	①	生理食塩液50mL + デキサート13.2mg + ホルミン1A		
			15分で点滴静注		
	0時15分	②	生理食塩液 100mL		
			30分で点滴静注		
	0時45分	③	生理食塩液 500mL + セツキシマブ	0mg	
			2時間で点滴静注		0.0mL
	2時45分	④	生理食塩液 250mL		
			1時間で点滴静注 (経過観察を十分におこなう)		
	3時45分	⑤	生理食塩液 500mL		
			2時間で点滴静注		
	5時00分	内服	アプレピタントカプセル 125mg 1×(1)	シスプラチン開始 1時間前頃	
	5時45分	⑥	生理食塩液 50mL + アロキシ 1V		
			15分で点滴静注		
	6時00分	⑦	生理食塩液 700mL + シスプラチン	0mg	
			2時間で点滴静注		0.0mL
	8時00分	⑧	ソリタ T 3号 500mL + フルオロウラシル	0mg	
			12時間で点滴静注		0.0mL
		⑧'	マンニトール 300mL		
			30分で点滴静注 (側管から⑧と同時に開始)		
	8時30分	⑨	生理食塩液 50mL + フロセミド 1A		
			15分で点滴静注 (側管から⑧'終了後より開始)		
	8時45分	⑩	生理食塩液 500mL × 2		
			4時間 (2時間×2) で点滴静注 (側管から⑨終了後より開始)		
	20時00分	⑪	ソリタ T 3号 500mL + フルオロウラシル	0mg	
			12時間で点滴静注		0.0mL

Day2~4 1月2日 (月) ~ 1月4日 (水)  
起床後 内服 アプレピタントカプセル 80mg 1×(2) 起床後

	メイン	側管			
	0時00分	①	生理食塩液 50mL + デキサート 3.3mg		
			15分で点滴静注 (側管から①と同時に開始)		
	0時15分	②	生理食塩液 500mL × 3		
			6時間 (2時間×3) で点滴静注 (側管から①'終了後より開始)		
	8時00分	③	ソリタ T 3号 500mL + フルオロウラシル	0mg	
			12時間で点滴静注		0.0mL
	20時00分	④	ソリタ T 3号 500mL + フルオロウラシル	0mg	
			12時間で点滴静注		0.0mL

Day5 1月5日 (木)  
8時00分 ① 生理食塩液 50mL  
フラッシュ

	メイン	側管			
Day8 1月8日 (日)	0時00分	①	生理食塩液50mL + デキサート3.3mg + ホルミン1A		
			15分で点滴静注		
	0時15分	②	生理食塩液 100mL		
			30分で点滴静注		
	0時45分	③	生理食塩液 250mL + セツキシマブ	0mg	
			1時間で点滴静注		0.0mL
	1時45分	④	生理食塩液 250mL		
			1時間で点滴静注 (経過観察を十分におこなう)		

REFERENCE

Jan B Vermorken, M. D., Ph. D., Ricard Mesia, M. D., Fernando Rivera, M. D., Ph. D., et al. N Engl J Med 359 : 1116-27, 2008  
Platinum-based chemotherapy plus cetuximab in head and neck cancer

2013年4月度化学療法プロトコール審査委員会承認：2013年4月8日 更新：2016年7月14日